

兵庫県がん診療連携協議会、兵庫県放射線技師会、兵庫県放射線医学会共催

「第2回放射線セミナー」

テーマ：「大腸がんの診断と最新治療」

日時：平成27年1月31日（土）14：00～17：00

会場：神戸市教育会館

目的：大腸がんの診断と治療をテーマに、下部消化管の解剖から血管構築、画像処理、診断から最新治療まで、最先端で活躍中の診療放射線技師、放射線診断科医師、消化器外科医師からの講演と意見交換を行い、「大腸がんの診断と最新治療」についての理解を深める。

対象：医師、放射線技師、その他の医療関係者（自由参加）約200名

（敬称略）

14：05-14：15 開会あいさつ

兵庫県がん診療連携協議会 議長

足立秀治

兵庫県放射線医学会 会長

杉村和朗

講演1. 14：15-14：45（質疑込み30分）

演題名：「始めようCT colonography (CTC) ～準備から画像の基礎まで～」

演者：尼崎中央病院放射線部

鎌田照哲

座長：北播磨総合医療センター診療支援部次長

平田敏幸

上部、下部消化管の解剖とCT colonographyの基礎や、血管構築、画像処理、保険請求に必要な設備などについて

講演2. 14：45-15：30（質疑込み45分）

演題名：「CT colonographyを用いた大腸がんの画像診断」

演者：国立がん研究センター中央病院 放射線診断科

三宅基隆

座長：兵庫県立がんセンター 放射線診断科部長

竹中大祐

大腸がんの画像診断のなかで、保険適応となったCTCを、大腸がん診療体系の中にどのように組み込み、その中で放射線診断医、技師がどのような役割を担うかについて

休憩 15：30-15：40（10分程度、時間調整）

講演3. 15：40-16：40（質疑込み60分）

演題名：「大腸がんにおける集学的治療」

演者：明和病院外科部長

木村文彦

座長：県立西宮病院副院長兼外科部長

（兵庫県がん診療連携協議会研修教育部会長）

小林研二

大腸がんの最新治療、鏡視下手術を含む集学的治療についての解説と、放射線画像や放射線治療（放射線科医師・技師）に対する提言を含めて

閉会あいさつ 16：45

兵庫県放射線技師会 会長

清水 操
以上